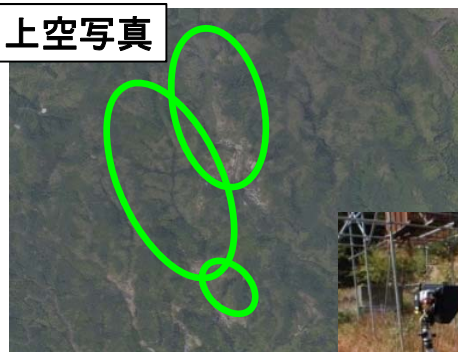
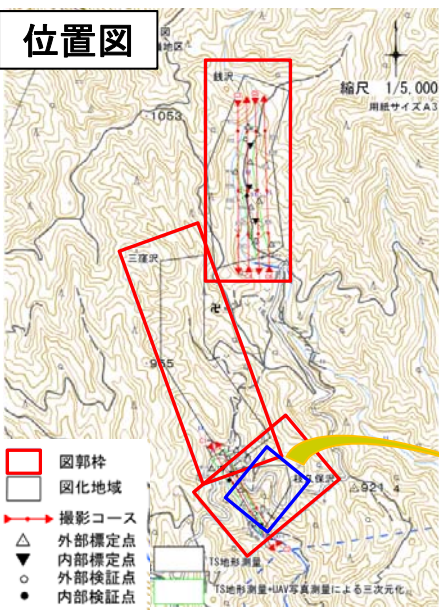


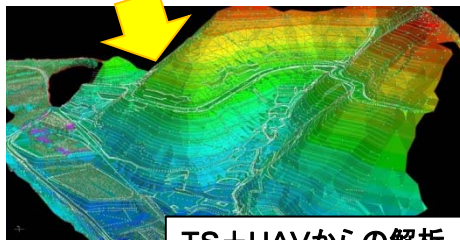
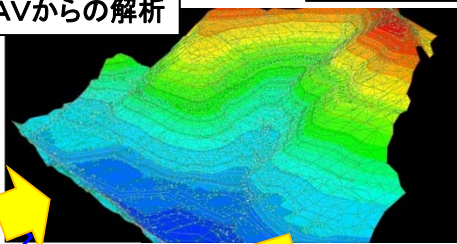
中部地方整備局天竜川上流河川事務所 平成28年度 天竜川水系小渋川流域測 量業務

発注者:中部地方整備局
天竜川上流河川事務所
受注者:大同コンサルタンツ(株)
作業量:0.042km²

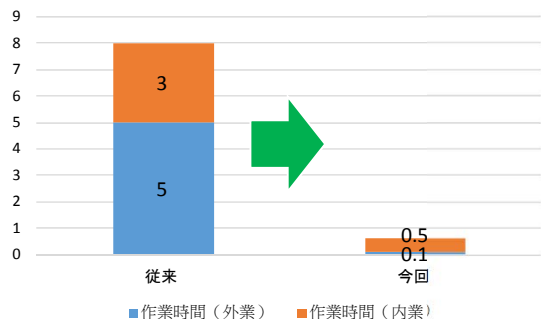
- 測量区分(測量方法):現地測量(UAV写真測量)
- 地域・地形区分:低山地・原野及び森林
- 発注方式:受注者希望型(価格競争)



UAVからの解析



計測から解析までの作業時間



※作業量:0.042km²あたり

受注者の声

- 履行期間(工程):「UAV使用により、三次元データ取得日数が、通常のTSでは5日(40時間程)必要であったが1日(1時間程)の飛行で現場作業が完了できた。又、内業が3日から0.5日より業務日数削減ができた。」
- 編成:「通常のTSでは外業15人、内業2人かかる作業を外業5人(1時間程)、内業1人(大半がPCによる自動編集)で出来るなど少人数で対応可能であり省人化が図られた。」
- 品質:「UAVを用いた公共測量マニュアル(案)を順守する事により、地上TSでの三次元位置観測精度と同等の結果が得られた。又、観測点群が画面で確認できる為、取得データの異常の有無を目視にて確認する事が出来た。」
- 課題:「表層モデル、通称DSM」から障害物(樹木、建物等)を除去し「地表モデル、通称DEM」を作成する過程において、初夏~秋先の撮影であると除去する草木が多い為、データ量が減少しTSでの補足観測が多くなる。」